



リチウムイオンバッテリー 取り外し・回収マニュアル 日産アリア(FE0型)

2022年12月



Zero Emission

目次

1.	はじめに	3
(1)	はじめに	3
(2)	リチウムイオンバッテリー取り扱い時の注意事項	4
(3)	安全な回収のための重要事項	5
1)	高電圧回路の遮断	5
2)	高電圧コネクタ、端子の処理	5
3)	転売・譲渡・改造・二次利用の禁止	5
2.	リチウムイオンバッテリー引き取り依頼	6
(1)	引き取り依頼	6
(2)	お引き取りに関する依頼及び注意事項	6
3.	安全な作業を行うための重要事項	7
(1)	特別教育、指名作業の義務付け	7
1)	労働安全衛生法	7
2)	電子医療機器装着者の作業禁止	7
(2)	高電圧作業上の注意	7
1)	安全に関する表記について	7
2)	警告	7
3)	高電圧ハーネス、機器の識別	8
4)	高電圧コネクタ、端子の処理	8
5)	作業中の携帯禁止品	8
6)	取り外したリチウムイオンバッテリーの保管	8
7)	「高電圧作業中」の表示	8
4.	液漏れへの対応	10
5.	引き取りをお断りする事例	11
6.	安全な取り外しのために	12
(1)	車両外観上の特徴	12
(2)	日産エリアの型式確認	13
(3)	本マニュアルの見方	13
(4)	準備品	14

目次

7. 高電圧系部品と配線の位置	16
8. リチウムイオンバッテリー仕様	17
9. リチウムイオンバッテリー取り外し	19
(1) 放電手順	19
(2) 高電圧遮断手順	22
(3) リチウムイオンバッテリー取り外し手順.....	25
(4) 引き取りの準備・荷姿	36
10. 12V サブバッテリー（リチウムイオンバッテリー）取り外し.....	37
(1) 12V サブバッテリーの仕様	37
(2) 12V サブバッテリー取り外し手順	37
(3) 12V サブバッテリー引き取りの準備	43

1. はじめに

(1) はじめに

リチウムイオンバッテリー取り外し・回収マニュアル(以下「本マニュアル」)は、当社が製造・販売する電気自動車¹が日本国内において廃車になった際、搭載されているリチウムイオンバッテリーを回収・リサイクルするための解体事業者向けマニュアルです。

リチウムイオンバッテリーは高電圧であり、作業の取り扱いを誤ると感電など思わぬ重大傷害につながるおそれがあります。

安全に作業していただくために、事前に本マニュアルをよくお読みいただき、注意事項を遵守してください。

車種によりバッテリーユニットの形状、取り外し方法等が異なりますので、必ず車種をご確認の上、対応するリチウムイオンバッテリー取り外し・回収マニュアルを熟読いただき、安全な作業を行ってください。

本マニュアル、及び各車種のリチウムイオンバッテリー取り外し・回収マニュアルは、日産自動車ホームページにも記載しており、今後発売する車種についても順次掲載していきます。

URL: https://www.nissan-global.com/JP/SUSTAINABILITY/ENVIRONMENT/A_RECYCLE/BATTERY/

(2) リチウムイオンバッテリー取り扱い時の注意事項

日産自動車(株)では、当社製リチウムイオンバッテリーの転売・譲渡・改造・二次利用等による事故・損害等については、その一切の責任を負いかねます。

使用済リチウムイオンバッテリーの取り扱い時には、以下の注意事項をご確認の上、十分ご注意ください。なお、以下の注意事項を遵守しない場合は、重大な損害や法的責任が発生する場合があります。

二次利用・高電圧に関する注意

リチウムイオンバッテリーは分解・改造または不適切な二次利用を行うと、感電、発煙・発火、電解液漏出事故等が発生し、重大事故に繋がる恐れがあります。

また、リチウムイオンバッテリーは高電圧であり、取り扱いを誤ると感電等重大事故の恐れがあります。取り扱い時には以下の項目を遵守してください。

- 分解、改造などバッテリーに手を加えないこと
- 高所からの落下などバッテリーを破損させるような衝撃を与えないこと(衝撃を加えられると火災や液漏れを発生するおそれがあります。)
- 直射日光/雨水が当たらない場所で保管すること
- 取り外したバッテリーは火に近づけたり、加熱したりしないこと

(3) 安全な回収のための重要事項

1) 高電圧回路の遮断

電気自動車は、最大 400V 程度の高電圧バッテリーを有しています。取り外し作業を行う前に、必ずサービスプラグを引き抜き、高電圧の遮断措置を行ってください。

サービスプラグを抜かずに高電圧部位の解体、分解、切断等を行うと感電による重度の火傷又は重大傷害や最悪の場合、死亡に至る可能性があります。

2) 高電圧コネクタ、端子の処理

電気自動車から取り外したリチウムイオンバッテリーは高電圧のため取扱いに注意が必要です。取り外した高電圧ハーネスコネクタ、端子は取り外し後直ちに絶縁処理を行ってください。

3) 転売・譲渡・改造・二次利用の禁止

安全上の事故防止のため、絶対に転売・譲渡・改造または不適切な二次利用をしないでください。リチウムイオンバッテリーが適切に回収されずに改造されたり、転売・譲渡、又は不法投棄により第三者に渡ると、相手方でこれらの危険性が認識されず、重大な事故を引き起こすおそれがあります。

車両からリチウムイオンバッテリーを取り外した後は、速やかにリチウムイオンバッテリー回収受付窓口までご連絡を頂き、回収にご協力ください。

2. リチウムイオンバッテリー引き取り依頼

リチウムイオンバッテリーを搭載したまま車両のソフトプレス等を行うと、発火のおそれがありますので、必ず取り外してください。

(1) 引き取り依頼

下記、自動車再資源化協力機構(自再協)HP より回収を依頼してください。

自動車再資源化協力機構（自再協）
LiB 事業部 LiB 回収グループ
お問い合わせ (TEL) ⇒0570-000-994
回収依頼⇒<http://www.lib-jarp.org>

(2) お引き取りに関する依頼及び注意事項

1) 取り外し・回収マニュアル掲載ホームページアドレス

リチウムイオンバッテリーの具体的な取り外し作業は、各車両別の取り外し・回収マニュアルに沿って行ってください。

下記ホームページ上で最新版をご確認ください。

取り外し・回収マニュアル掲載ホームページアドレス

https://www.nissan-global.com/JP/SUSTAINABILITY/ENVIRONMENT/A_RECYCLE/BATTERY/

3. 安全な作業を行うための重要事項

(1) 特別教育、指名作業の義務付け

1) 労働安全衛生法

労働安全衛生法 第 59 条及び労働安全衛生規則第 36 条(特別教育、指名作業)

高電圧回路に関わる点検・整備を行う作業者には労働安全衛生法第 59 条ならびに労働安全衛生規則第 36 条に定められた特別教育の受講が義務付けられており、指名作業の手続きを取る必要があります。

2) 電子医療機器装着者の作業禁止

車両には強力な磁石を持つ部品が使われています。ペースメーカー等の電子医療機器装着者は、それらの機器に接近すると磁力の影響を受けるおそれがあるので、車両の作業は絶対に行わないでください。

(2) 高電圧作業上の注意

1) 安全に関する表記について

以下の項目は、安全に関して特に重要な事項を説明しています。必ずお読みください。

<p>危険：守らないと死亡、又は重大な障害につながる事項及び作業要領</p> <p>警告：守らないと生命の危険、又は重大な障害につながるおそれのある事項及び作業要領</p> <p>注意：守らないと障害や事故、又は車両や構成部品の損傷につながるおそれのある事項及び作業要領で、特に注意すべき事項</p>

2) **警告**：以下の警告事項を遵守して作業を実施すること。

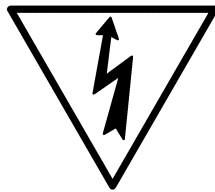
- ハイブリッド車は高電圧リチウムイオンバッテリーを有しているため、取り扱いを誤ると感電、漏電などのおそれがある。取り扱い時は、作業手順に従い正しい作業を実施すること。
- 高電圧系の作業を実施する際は、必ず絶縁保護具を着用すること。
- 高電圧系のハーネス、及び部品の取り扱い時は、高電圧回路を遮断するため、必ずサービスプラグを取り外すこと。
- 取り外したサービスプラグは、作業中に他の人が誤って接続することがないように、必ずポケットに入れて携帯すること。
- 高電圧作業時は、担当者を明確にし、他の人が車両に触れないようにすること。また、作業時以外は耐電カバーシート等で高電圧部品を覆い、他の人が触れないようにすること。

安全な作業を行うための重要事項

- リチウムイオンバッテリーを破損させるような衝撃を与えないこと。
(ニブラを使った解体、リチウムイオンバッテリーが搭載されている状態でのプレス、フォークリフト等による突き刺し、高所からの落下等)
- 3) 高電圧ハーネス、機器の識別
高電圧ハーネス、コネクタはオレンジ色に統一してある。
また、リチウムイオンバッテリーをはじめ高電圧機器には「高電圧」のオレンジ色のラベルが貼り付けてあるので、これらのハーネスや部品には不用意に触れないこと。
 - 4) 高電圧コネクタ、端子の処理
取り外した高電圧ハーネスコネクタ、端子は取り外し後直ちにリチウムイオンバッテリー側に絶縁テープを貼り絶縁すること。
 - 5) 作業中の携帯禁止品
高電圧と強力な磁力を持つ部品が使われているので、短絡のおそれのある金属製品や、磁気記録破壊のおそれのある磁気記録媒体(キャッシュカード、プリペイドカード等)を身につけて作業を行わないこと。
 - 6) 取り外したリチウムイオンバッテリーの保管
雨水にぬれない場所、直射日光に当たらない場所で保管すること。
取り外したリチウムイオンバッテリーは火に近づけたり、加熱しないこと。
 - 7) 「高電圧作業中」の表示(次ページ参照)
高電圧系の作業を行っている車両には「高電圧作業中に付き触るな！」の表示を行い、他の作業者にも注意を喚起する。

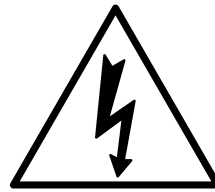
作業担当者

高電圧作業中に付き
触るな！



警告！

警告！



高電圧作業中に付き
触るな！

作業担当者

4. 液漏れへの対応

リチウムイオンバッテリーの電解液は無色透明で芳香臭があります。

電解液は、万が一リチウムイオンバッテリーが破損した場合にも、リチウムイオンバッテリーから大量に流出することはありません。

万が一、リチウムイオンバッテリーの電解液が漏れている場合は引火性があるため、直ちに火気より遠ざけてください。十分に換気を行い、電解液は耐溶剤保護具を着用してウエス等で拭き取ってください。

また、液漏れした電解液及びその蒸気は、空気中の水分と反応して酸性の物質を生成する可能性があり、皮膚や目に刺激性があるため、万が一、電解液に触れたり目に入ったりした場合は、多量の流水でよく洗い流し、速やかに医師の診断を受けてください。

リチウムイオンバッテリー電解液以外のフルードは、エンジン車両で使用されている一般的な自動車フルードと同様です。エンジン車両の場合と同様の処置を行ってください。

注意: 電解液漏出時に用いる吸着マット、ウエスの廃棄は、都道府県知事の許可を受けた専門の産廃業者に委託してください。

5. 引き取りをお断りする事例

本マニュアル対象外のリチウムイオンバッテリー、又は車種別取り外し・回収マニュアルに沿わない取り外しによるリチウムイオンバッテリーは原則として引き取りはお断りさせていただき、取り外し手数料は支払われませんのでご注意ください。

本マニュアル対象のリチウムイオンバッテリーは、以下の条件を全て満たしているものとします。

- 2010年11月以降に発売された
- 日産自動車製車両に搭載されている
- 駆動用のリチウムイオンバッテリー

引き取り対象外のリチウムイオンバッテリーであるため、引き取りをお断りする事例
(代表例)

- (1) 他社製車両搭載のリチウムイオンバッテリー
- (2) 自社で取り外し作業を実施していないリチウムイオンバッテリー

本マニュアルに沿った取り外しが行われていないため引き取りをお断りする事例
(代表例)

- ① サービスプラグを外していないもの
- ② オレンジ色の高電圧配線類を切断しているもの
- ③ ニブラ等重機を用いたためリチウムイオンバッテリーが変形・破損したもの
- ④ バッテリーケースを分解したもの
- ⑤ 屋外に長期間放置されて損傷が激しいもの

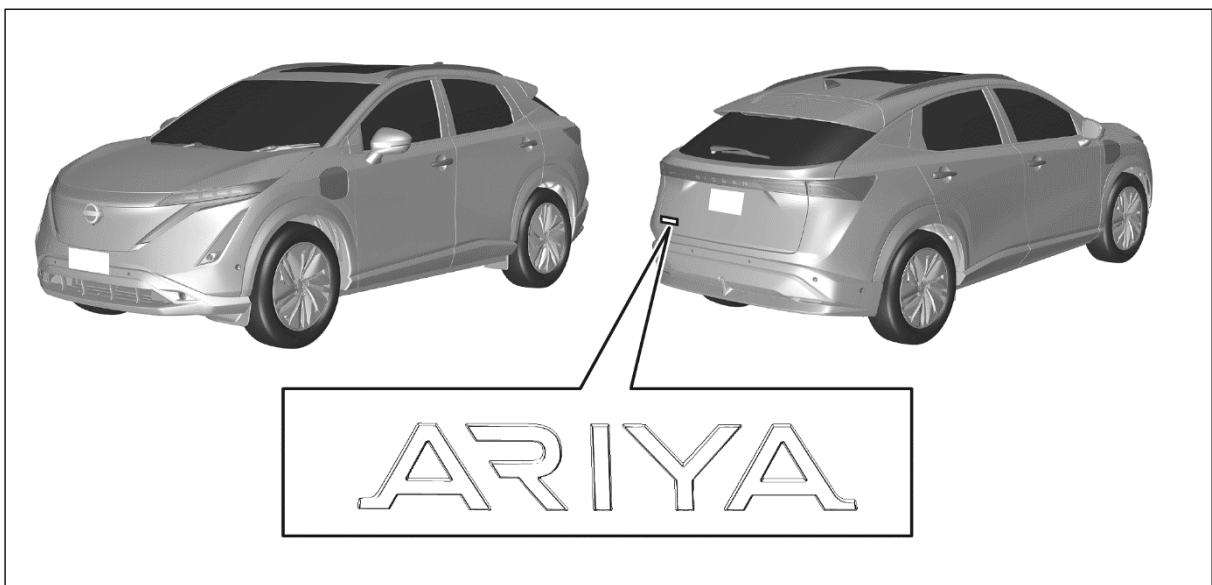
6. 安全な取り外しのために

まず始めに、前項 3. 安全な作業を行うための重要事項 を熟読の上、以下に記載の内容に沿った安全な取り外しを行ってください。

(1) 車両外観上の特徴

本マニュアルは、日産アリア専用マニュアルです。

下記の特徴から車種を特定してください。



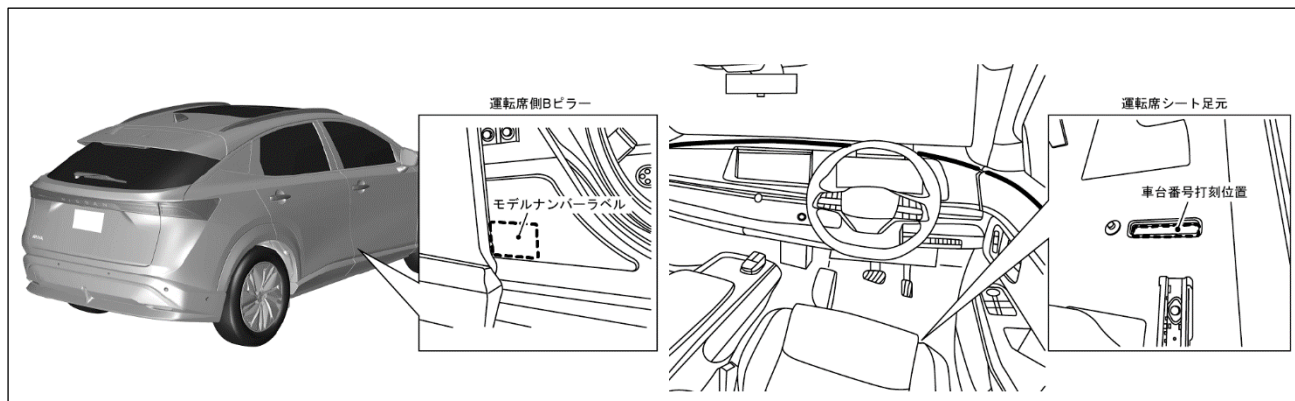
安全な取り外しのために

(2) 日産アリアの型式確認






本マニュアルは、日産アリア FE0 専用のマニュアルです。

運転席シート足元に車台番号が打刻されています。モデルナンバープレートには、型式及び車台番号等が刻印されています。アリアは、FE0 で識別できます。

車台番号 例:FE0 - □□□□□□



(3) 本マニュアルの見方

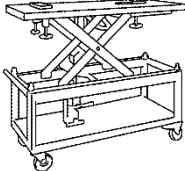
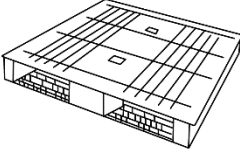
記号	意味
 (感電マーク)	高電圧が掛かっている、または掛かっている可能性がある部品、コネクタ等を外す場合に作業を誤ると感電するおそれがある。
 (絶縁手袋)	高電圧部品の取り扱い時に着用する。
 (絶縁安全靴)	高電圧部品の取り扱い時に着用する。
 (耐電ヘルメット)	リフトアップした時の、高電圧部品の取り扱い時に着用する。
 (フェイスシールド/保護メガネ)	高電圧端子、ハーネスの脱着・点検の際着用する。 (ショートにより火花が発生する可能性がある。)

安全な取り外しのために

(4) 準備品

名称		用途
絶縁ゴム手袋 (600V までの低圧作業用)		高電圧系部品の取り外し
皮手袋		絶縁ゴム手袋の保護
耐電安全靴		高電圧系部品の取り外し
フェイスシールド/ 保護メガネ		高電圧系部品の取り外し
耐電ヘルメット		高電圧系部品の取り外し
絶縁テープ		高電圧ハーネスコネクタ、端子の絶縁処理
耐電カバーシート		作業中断時の感電防止

安全な取り外しのために

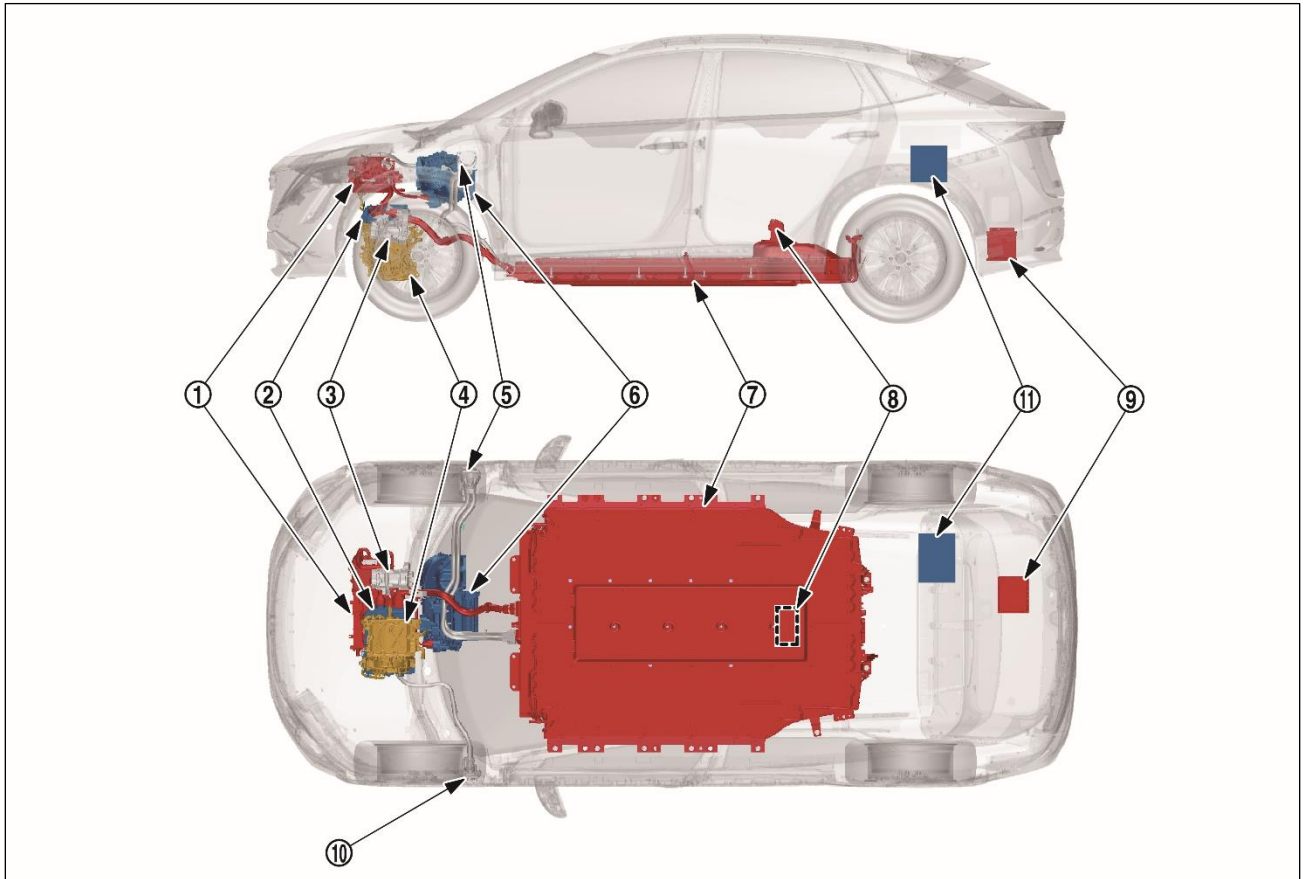
名称		用途
リフトテーブル		リチウムイオンバッテリーの取り外し
パレット (1,100 mm × 1,100 mm)		リチウムイオンバッテリーの取り外し、運搬

注意: 重量物を積載しますので、パレットは耐荷重 1 トン以上のものをご使用ください。
また、劣化の激しいパレットは使用しないでください。

7. 高電圧系部品と配線の位置

本車両は、最大約 400V の高電圧システムを備えています。

高電圧系部品と配線の位置を確認し、十分に注意して作業を実施してください。



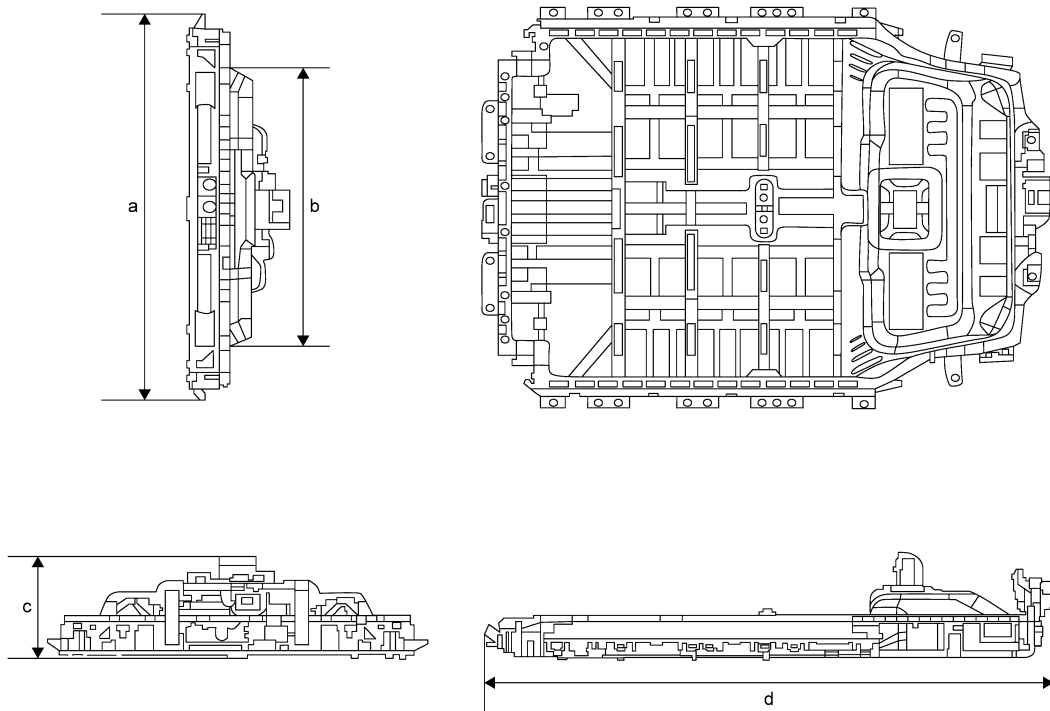
- | | | |
|--|-----------------------------|----------------------------|
| ① 高電圧供給ユニット ASSY
・DC/DC コンバーター
・車載充電器
・高電圧ジャンクションボックス | ② 駆動モーターインバーター | ③ 高電圧コンプレッサー |
| ④ 駆動モーター | ⑤ 急速充電ポート | ⑥ エアコンユニット
(PTC ヒーター内蔵) |
| ⑦ リチウムイオンバッテリー | ⑧ サービスプラグ | ⑨ 12V バッテリー(鉛バッテリー) |
| ⑩ 普通充電ポート | ⑪ 12V サブバッテリー(リチウムイオンバッテリー) | |

リチウムイオンバッテリー仕様

8. リチウムイオンバッテリー仕様

66kWh リチウムイオンバッテリー

項目		仕様	
種類		リチウムイオン電池	
構成		12 モジュール(192 セル)	
定格電圧	(V)	352	
総電力量	(kWh)	66.7	
パック重量	総重量	(kg)	450.7

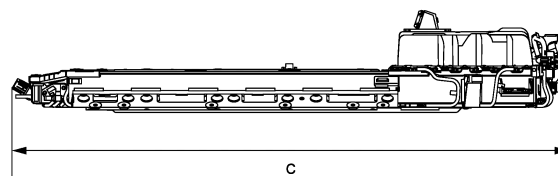
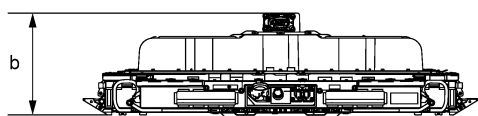
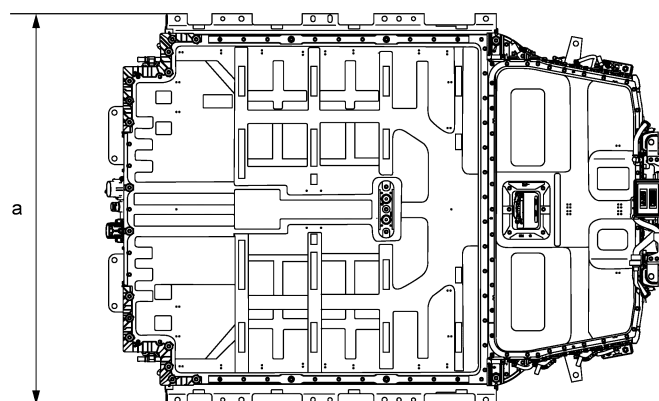


パック外形寸法	“a”	(mm)	1456
	“b”	(mm)	—
	“c”	(mm)	384.6
	“d”	(mm)	2099.4

リチウムイオンバッテリー仕様

91kWh リチウムイオンバッテリー

項目		仕様
種類		リチウムイオン電池
構成		16 モジュール(192 セル)
定格電圧	(V)	352
総電力量	(kWh)	91
パック重量	総重量 (kg)	578



パック外形寸法	“a”	(mm)	1456
	“b”	(mm)	384.6
	“c”	(mm)	2099.4

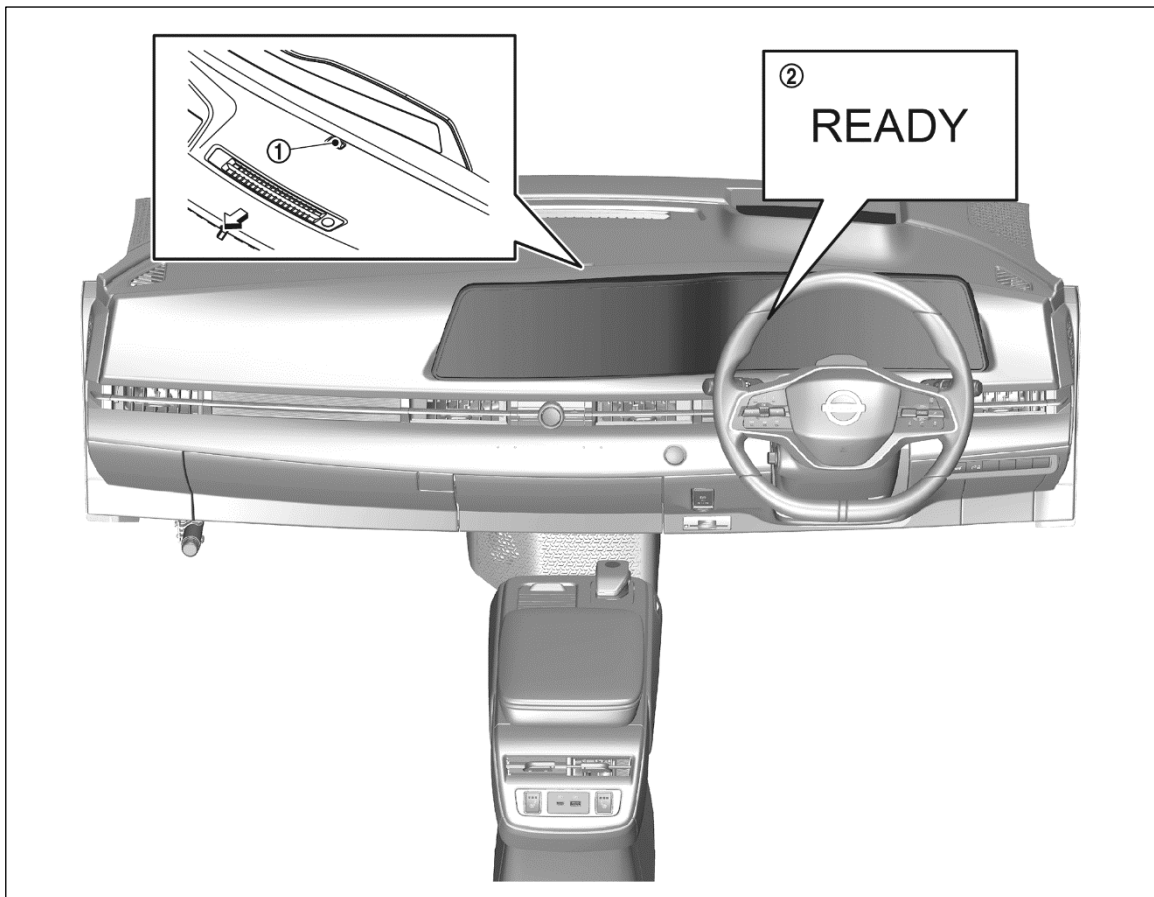
9. リチウムイオンバッテリー取り外し

注意: 放電・高電圧遮断・リチウムイオンバッテリー取り外しは、液材やフロンガス抜き取りなどの適正処理前に行うこと。



(1) 放電手順

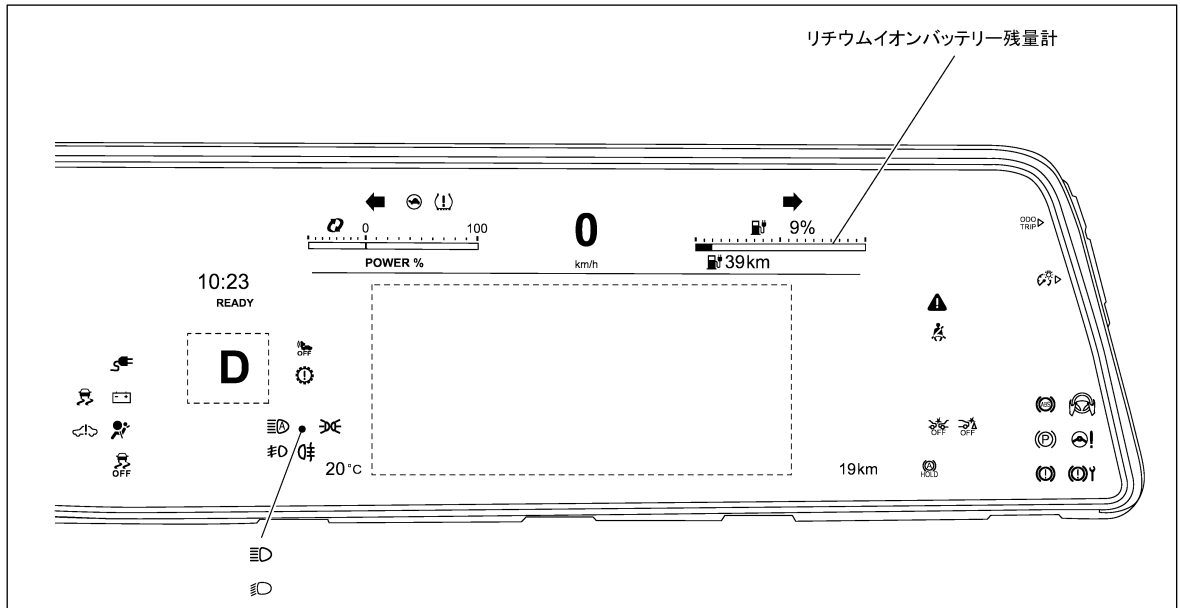
1. セレクトレバーをPにし、パーキングブレーキを作動させる。車止め等を使い車両が動かないよう固定する。
2. ブレーキペダルを踏みながらパワースイッチを押して電源ポジションをONにし、メーターの走行可能表示灯が点灯することを確認する。



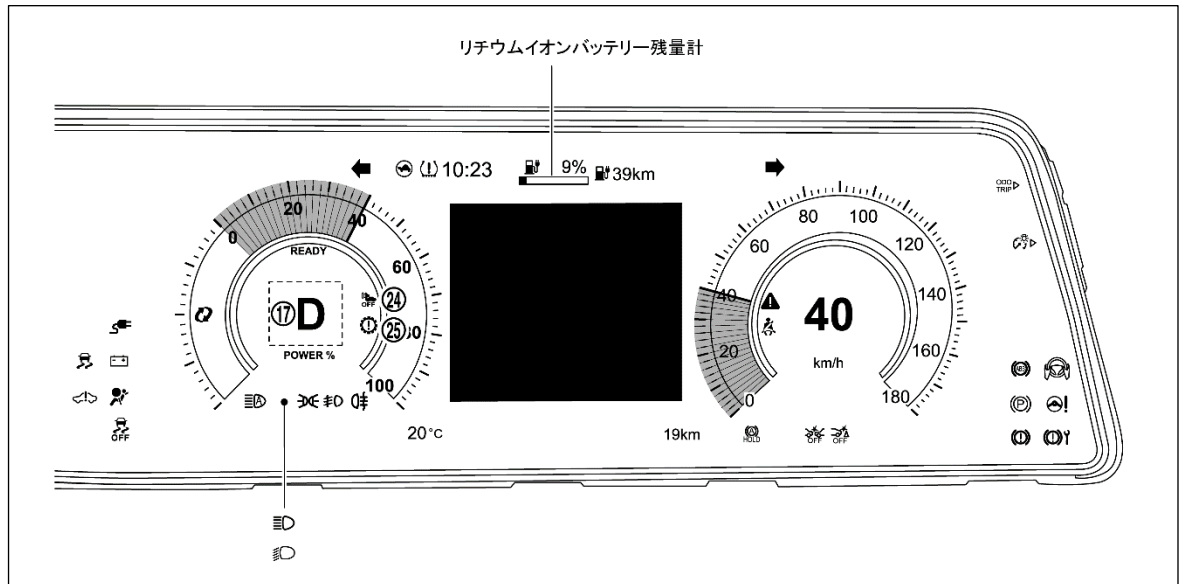
リチウムイオンバッテリー取り外し

3. メーター上部にあるリチウムイオンバッテリー残量計で、リチウムイオンバッテリー残量を確認する。
 - リチウムイオンバッテリー残量が半分以上の場合、引き続き次工程 4.に進み、放電する。
 - リチウムイオンバッテリー残量が半分以下の場合、次ページ(2)遮断手順へ進む。

エンハンス表示

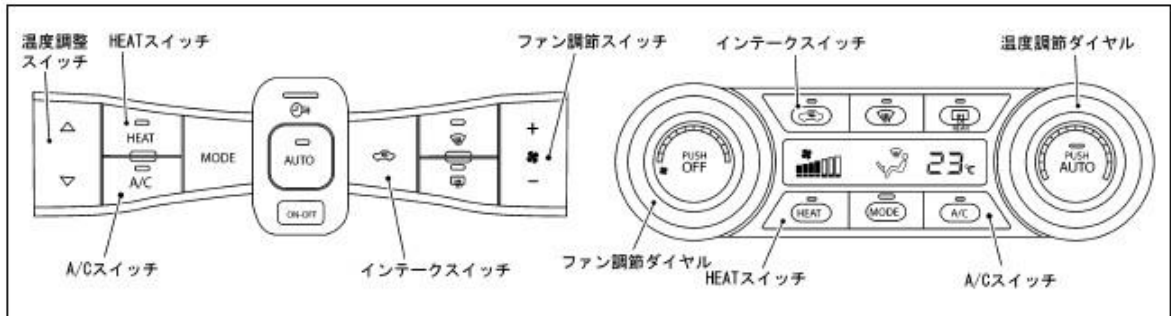


クラシック表示



リチウムイオンバッテリー取り外し

4. 手動でエアコンシステムを作動させ、リチウムイオンバッテリーを放電する。
 - A/C スイッチ、HEAT スイッチを押し、表示灯が点灯していることを確認する。
 - インテークスイッチが消灯していることを確認する。
 - 温度調節スイッチ/ダイヤルを使い最高温度まで上げ、ファン調節スイッチ/ダイヤルを使い最大風量に設定する。



5. リチウムイオンバッテリー残量計が半分以下になったらパワースイッチの電源ポジションを OFF にする。

以上で放電作業が完了する。

リチウムイオンバッテリー取り外し

(2) 高電圧遮断手順

1. パワースイッチを 2 秒以上長押しして高電圧システムを OFF にし、充電インジケータが消灯した事を確認する。

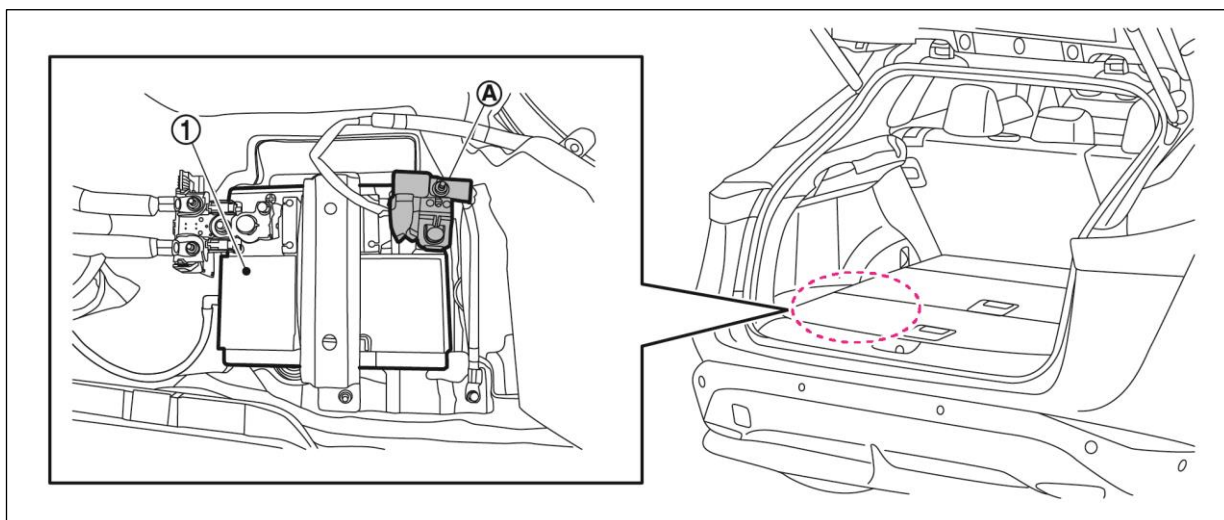
参考: 充電インジケータが緑色に 1 秒周期で点滅する場合、高電圧システムが ON の状態なので OFF にすること。

2. 高電圧システム OFF 後に車外へ出てから運転席ドアを閉めて 5 分以上待つこと。

注意:

- この時、運転席以外のドア、フード ASSY、バックドアパネルが閉じられているのを確認すること。
- オート ACC 機能によりアクセサリ電源が ON となるため、待機中はドアロックの操作やドアの開閉などの車両操作を行わないこと。
- 車両操作を行った時は、その時点から更に 5 分以上待つこと。
- 12V バッテリー電圧が 11V 以上あることを確認する。

3. ラゲッジフロアボード下にある、12V バッテリー①のマイナス端子Ⓐを外す。

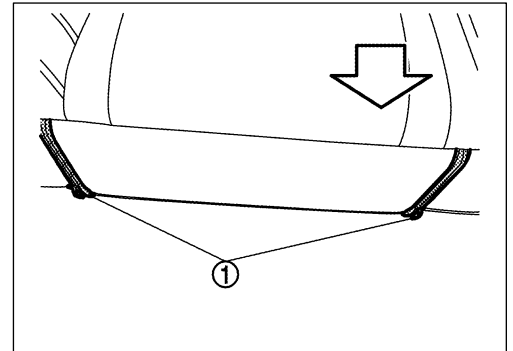


リチウムイオンバッテリー取り外し

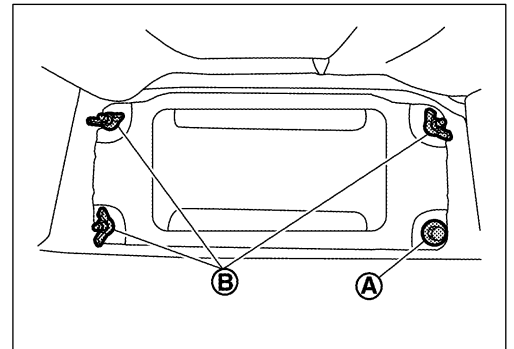
4. 以下の手順でサービス・プラグを取り外す。

4-1. 後席シートクッションのファスナー①を開く。

←: 車両フロント



4-2. 点検ホールカバー取り付けボルト①と取付ナット②を取り外し、点検ホールカバーを取り外す。



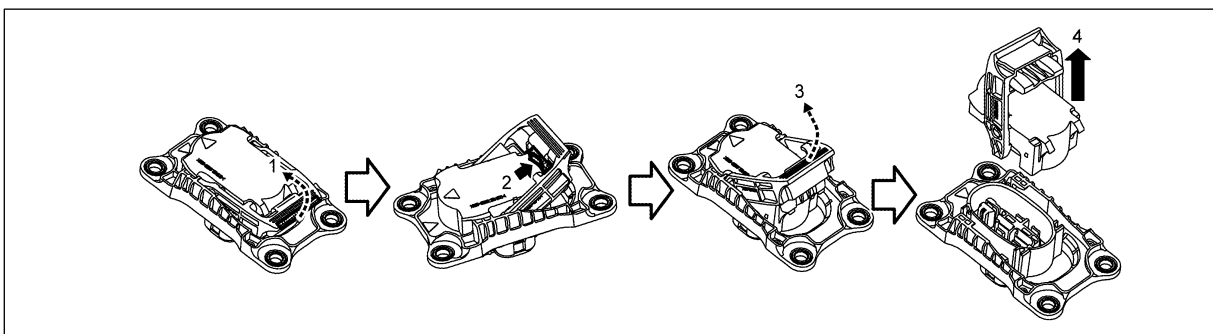
リチウムイオンバッテリー取り外し

5. 図の手順でサービス・プラグを取り外す。

危険: ⚠️ 端子部に触れると感電するおそれがあるため、必ず絶縁保護具を着用すること。

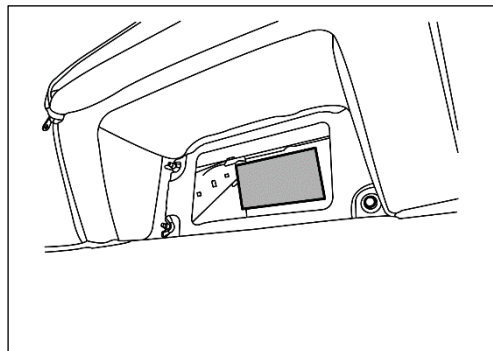


1. レバーに指を掛けて、矢印の方向にレバーが停止するまで起こす。
2. 爪を押して、ロックを外す。
3. レバーを矢印の方向に起こす。
4. レバーを持ちながら矢印の方向に引き抜く。



警告: ⚠️ 外したサービス・プラグコネクタは端子が露出しないよう、直ちにバッテリー側を絶縁テープで保護すること。

 : 絶縁テープ



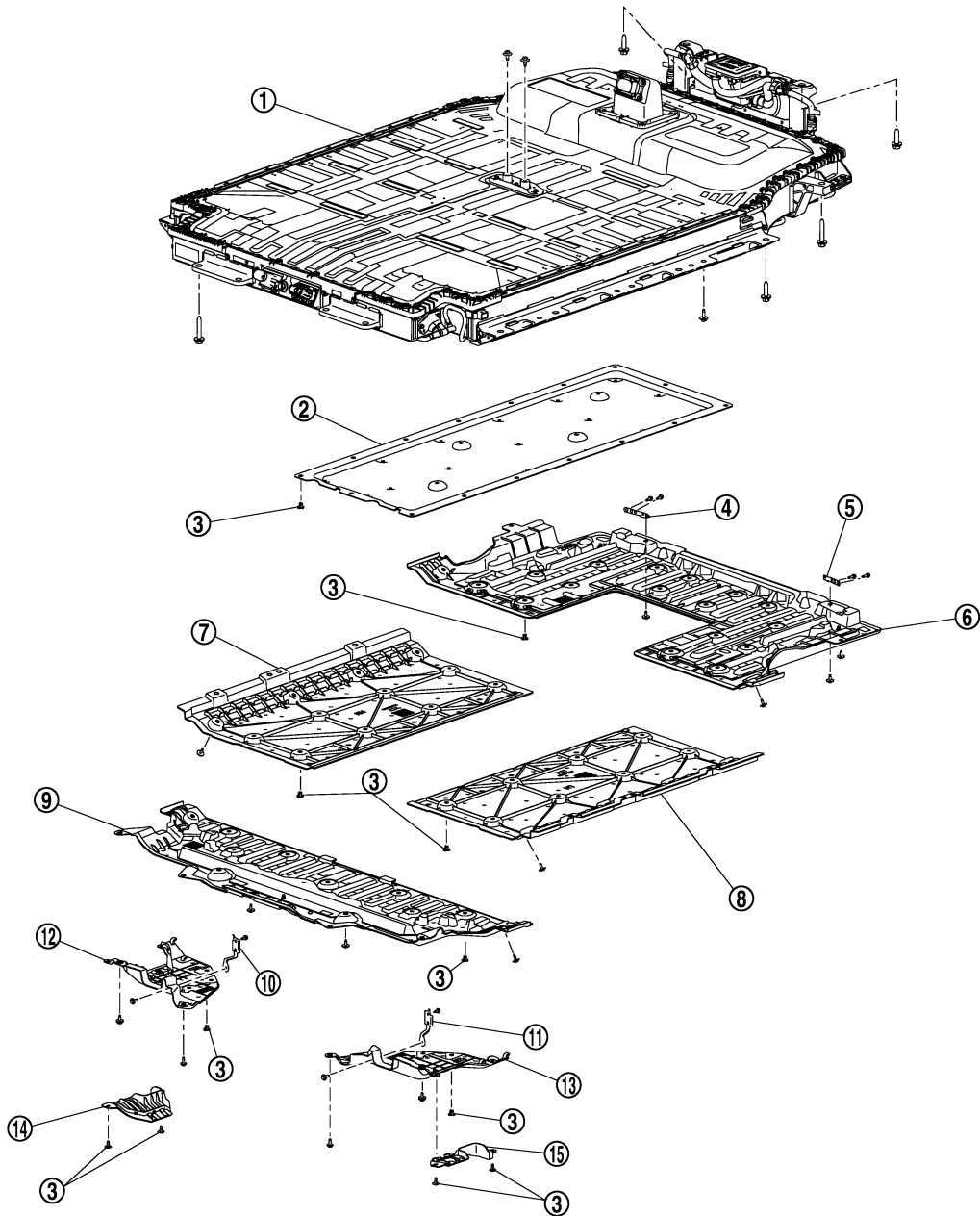
警告: ⚠️ 取り外したサービス・プラグは、作業中に他の人が誤って接続することがないように、作業者自ら保管すること。

6. 上記 1～5 の作業実施後、10 分以上経過してから次ページ(3)リチウムイオンバッテリー取り外し手順に従って作業を開始する。

リチウムイオンバッテリー取り外し

(3) リチウムイオンバッテリー取り外し手順

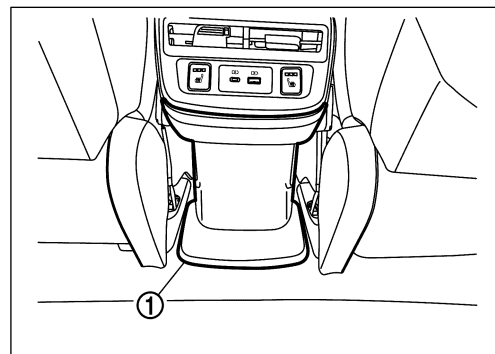
SEC. 291・747



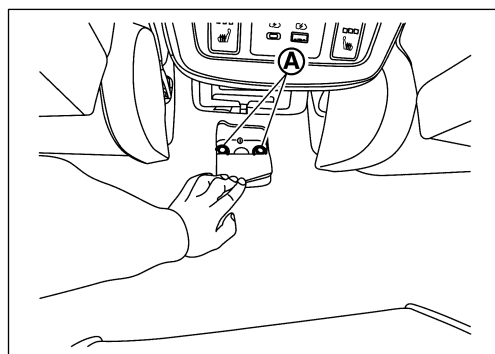
- | | | |
|--------------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------|
| ① リチウムイオンバッテリー | ② リチウムイオンバッテリーアンダカバー
(センタ) | ③ クリップ |
| ④ リチウムイオンバッテリーアンダカバー
(リヤ)ブラケット右 | ⑤ リチウムイオンバッテリーアンダカバー
(リヤ)ブラケット左 | ⑥ リチウムイオンバッテリーアンダカバー
(リヤ) |
| ⑦ リチウムイオンバッテリーアンダカバー
(センタ右) | ⑧ リチウムイオンバッテリーアンダカバー
(センタ左) | ⑨ リチウムイオンバッテリーアンダカバー
(フロント) |
| ⑩ リチウムイオンバッテリーアンダカバー
(フロント右)ブラケット | ⑪ リチウムイオンバッテリーアンダカバー
(フロント左)ブラケット | ⑫ リチウムイオンバッテリーアンダカバー
(フロント右) |
| ⑬ リチウムイオンバッテリーアンダカバー
(フロント左) | ⑭ リチウムイオンバッテリーアンダカバー
(フロント右)リッド | ⑮ リチウムイオンバッテリーアンダカバー
(フロント左)リッド |

リチウムイオンバッテリー取り外し

1. 後部座席から、コンソールリヤフィニッシュ①を取り外す。



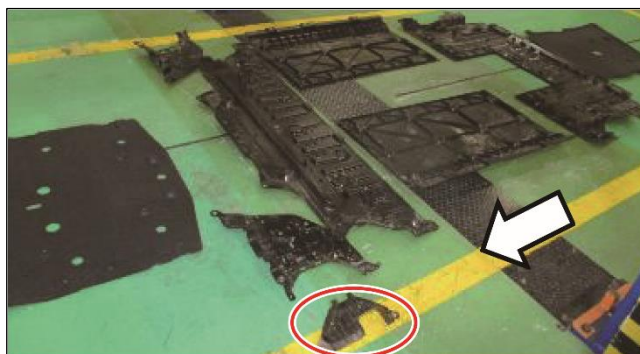
2. フロアカーペットをめくり、リチウムイオンバッテリー取付ボルト(A)を取り外す。



3. リチウムイオンバッテリーアンダカバー(フロント右)リッドと、リチウムイオンバッテリーアンダカバー(フロント左)リッドを取り外す。

○: アンダカバーリッド

⇐: 車両前方



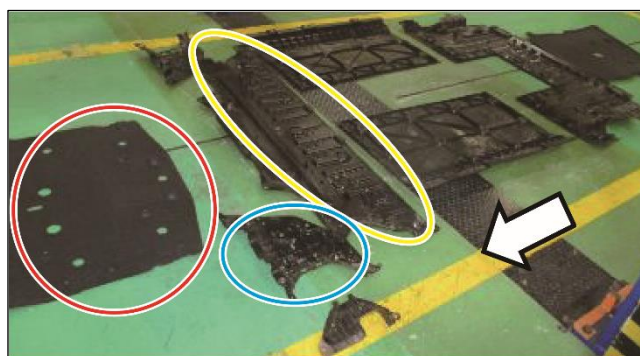
4. 車両をリフトアップする。
5. フロントアンダカバーリヤ、リチウムイオンバッテリーアンダカバー(フロント)左右とリチウムイオンバッテリーアンダカバー(フロント)を取り外す。

○: アンダカバーリヤ

○: リチウムイオンバッテリーアンダカバー(フロント)

○: リチウムイオンバッテリーアンダカバー(フロント)左右

⇐: 車両前方



6. 残りのリチウムイオンバッテリーアンダカバーを取り外す。

リチウムイオンバッテリー取り外し

7. リヤディフューザフロント取付ボルト及び取付樹脂クリップを外し、リヤディフューザフロントを取り外す。

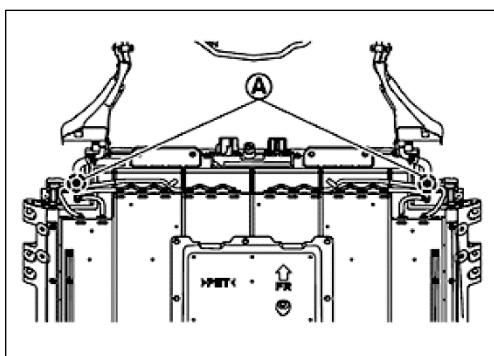
○:リヤディフューザフロント

←:車両前方

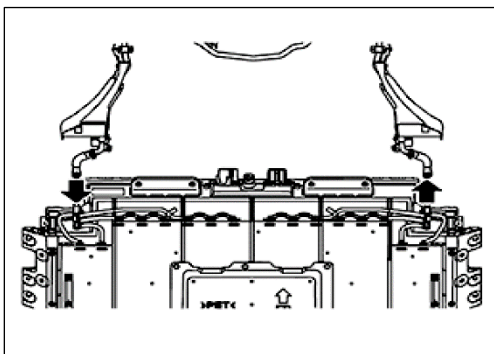


8. リチウムイオン冷却システム高電圧冷却水を抜く。

- 8-1. ウォータホースリチウムイオンバッテリー側(A)部を外す。

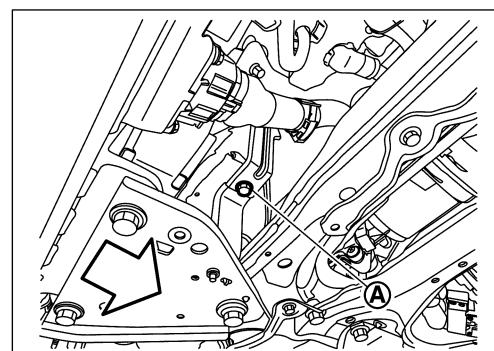


- 8-2. 矢印部にエアを送り配管内の冷却水を抜き取る。



9. 高電圧ハーネスブラケットボルト(A)を取り外す。

←:車両前方



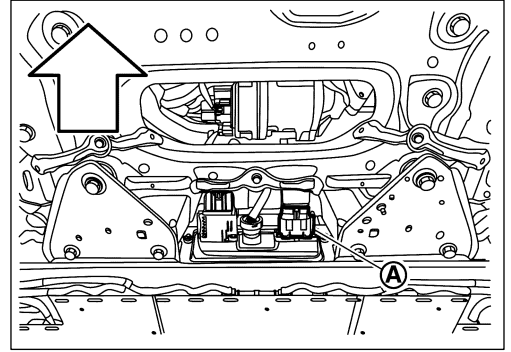
リチウムイオンバッテリー取り外し

10. 高電圧ハーネス(FR)コネクタ①を外す。

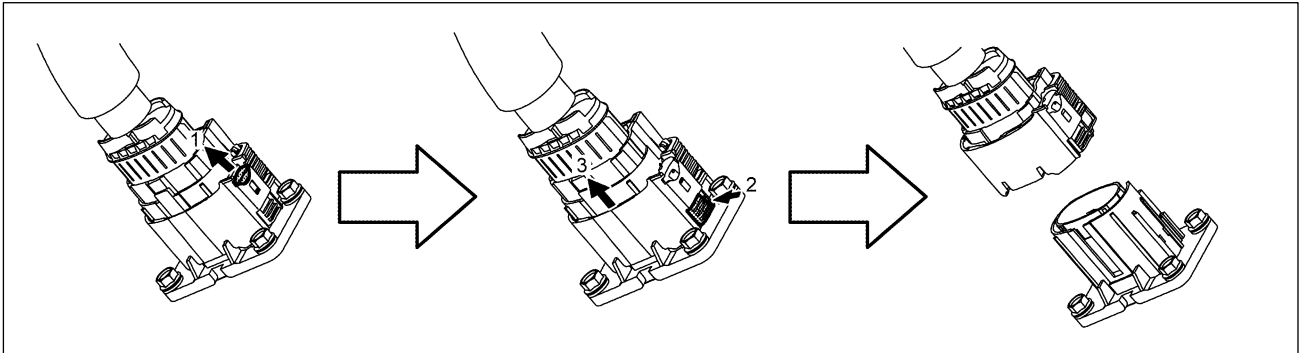
危険: ⚡ 端子部に触れると感電するおそれがあるため、必ず絶縁保護具を着用すること。



←: 車両前方



- 高電圧ハーネス(FR)コネクタ①は以下の手順で取り外す。



- ⚡ 感電するおそれがあるため、取り外した高電圧ハーネス(FR)コネクタや端子は、直ちに絶縁テープで絶縁処理すること。

: 絶縁テープ

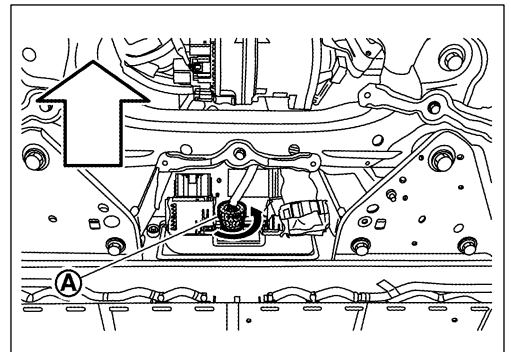


11. リチウムイオンバッテリーの車両通信ハーネスコネクタ①を反時計方向に廻しながら取り外す。

警告: ⚡ 感電を防止するため、絶縁保護具を着用すること。



←: 車両前方



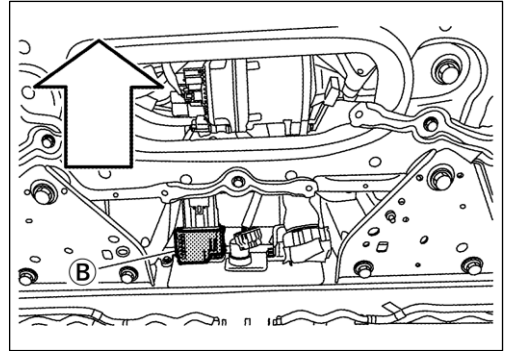
リチウムイオンバッテリー取り外し

12. 高電圧ハーネスコネクタ⑥を外す。

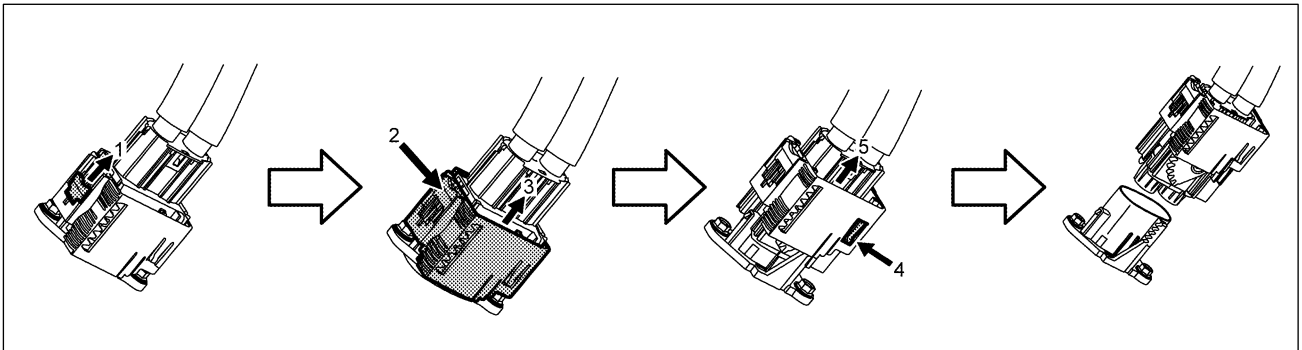
危険: ⚠️ 端子部に触れると感電するおそれがあるため、必ず絶縁保護具を着用すること。



←: 車両前方

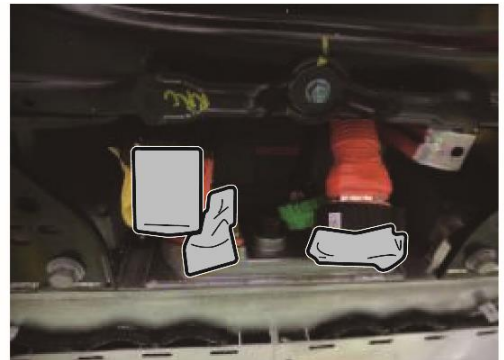


- 高電圧ハーネスコネクタ⑥は以下の手順で取り外す。



- ⚠️ 感電するおそれがあるため、取り外した高電圧ハーネスコネクタや端子は、直ちに絶縁テープで絶縁処理すること。

: 絶縁テープ



【4WD の場合】

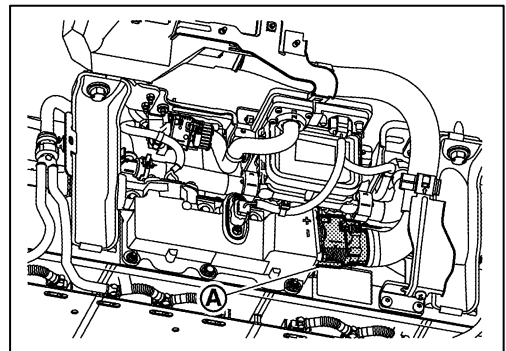
12-1. 高電圧ハーネス(RR)コネクタ①を外す。

危険:

- ⚠️ 端子部に触れると感電するおそれがあるため、必ず絶縁保護具を着用すること。

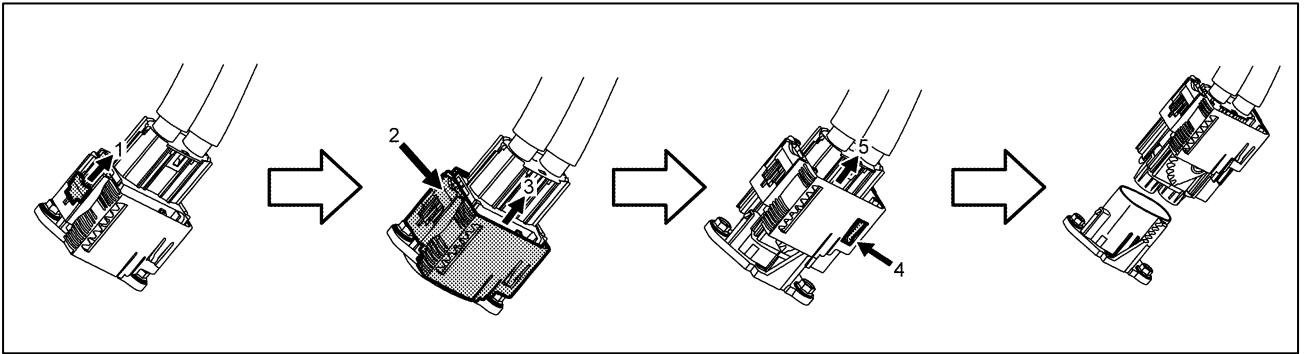


- ⚠️ 感電するおそれがあるため、取り外した高電圧ハーネスコネクタ端子は、直ちに絶縁テープで絶縁処理すること。



リチウムイオンバッテリー取り外し

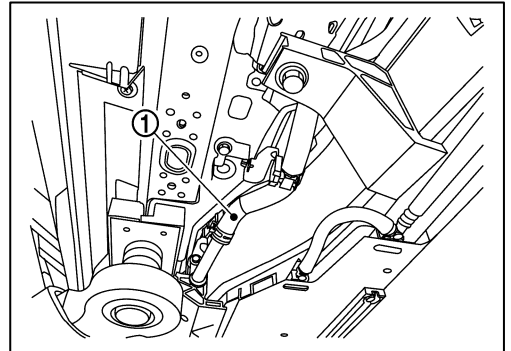
- 高電圧ハーネス(RR)コネクタは以下の手順で取り外す。



12-2. ウォーターホース①を外す。

参考:

- 図はリヤ左側を示す。
- リヤ右側、フロント左側及びフロント右側も同様に取り外す。



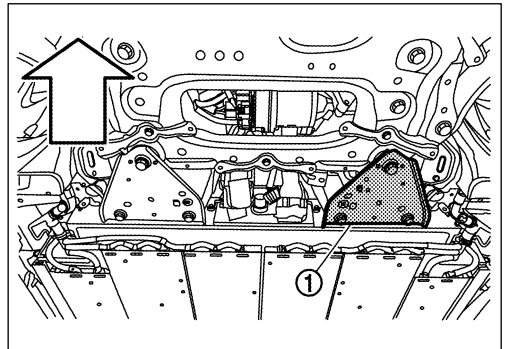
13. 左メンバスター(フロント側)①を取り外す。

注意: 左メンバスター(フロント側)と右メンバスター(フロント側)の取付ボルトを同時に取り外さないこと。

警告: ⚠ 感電を防止するため、絶縁保護具を着用すること。

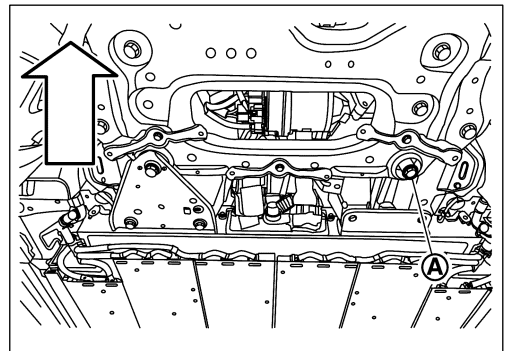


←: 車両前方



14. 左メンバスター(フロント側)取付ボルトを左メンバスター(フロント側)を取り外した状態で取り付ける。

←: 車両前方



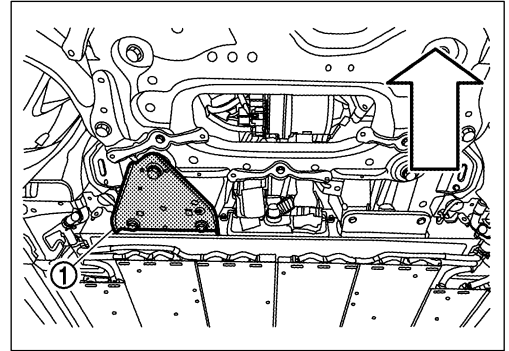
リチウムイオンバッテリー取り外し

15. 右メンバスター(フロント側)①を取り外す。

警告: ⚠ 感電を防止するため、絶縁保護具を着用すること。

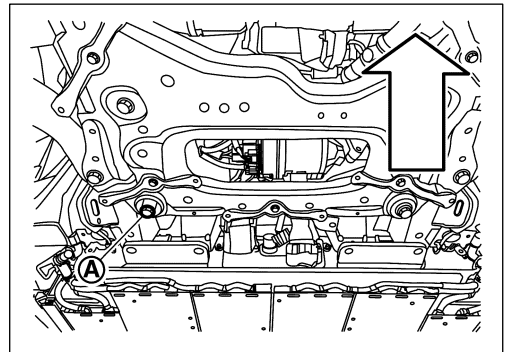


⇐: 車両前方



16. 右メンバスター(フロント側)取付ボルト(A)を右メンバスター(フロント側)を取り外した状態で取り付ける。

⇐: 車両前方



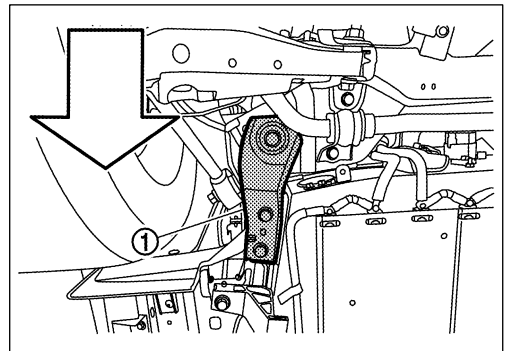
17. 左メンバスター(リヤ側)①を取り外す。

注意: 左メンバスター(リヤ側)と右メンバスター(リヤ側)の取付ボルトを同時に取り外さないこと。

警告: ⚠ 感電を防止するため、絶縁保護具を着用すること。

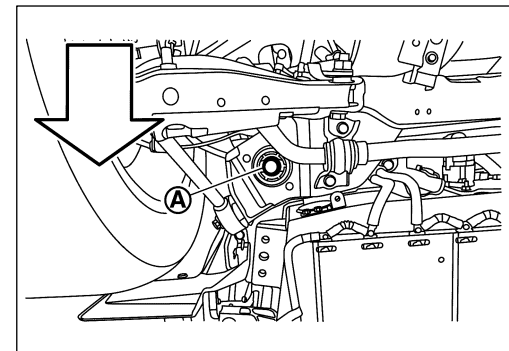


⇐: 車両前方



18. 左メンバスター(リヤ側)取付ボルト(A)を左メンバスター(リヤ側)を取り外した状態で取り付ける。

⇐: 車両前方



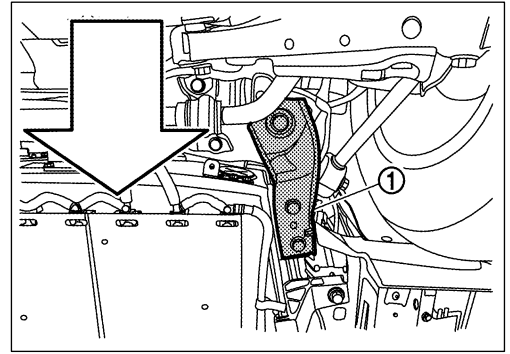
リチウムイオンバッテリー取り外し

19. 右メンバスター(リヤ側)①を取り外す。

警告: ⚠ 感電を防止するため、絶縁保護具を着用すること。

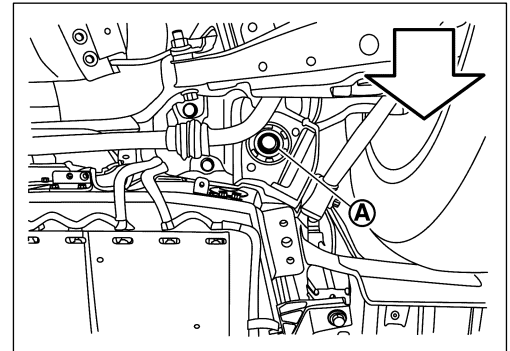


⇐: 車両前方



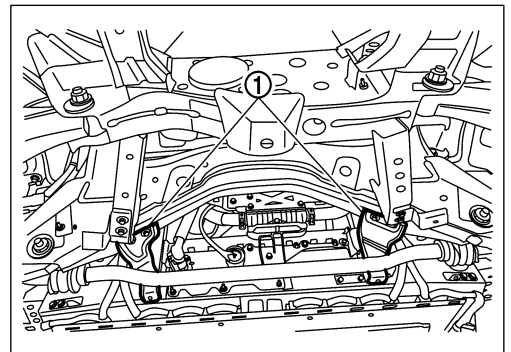
20. 右メンバスター(リヤ側)取付ボルトⒶを右メンバスター(リヤ側)を取り外した状態で取り付ける。

⇐: 車両前方



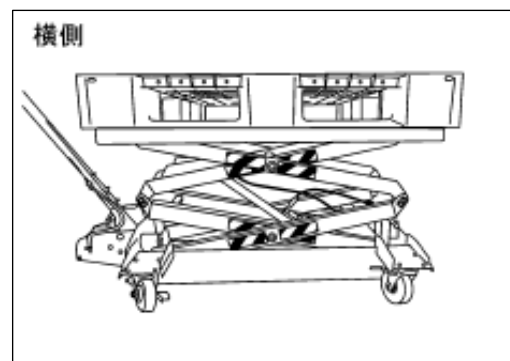
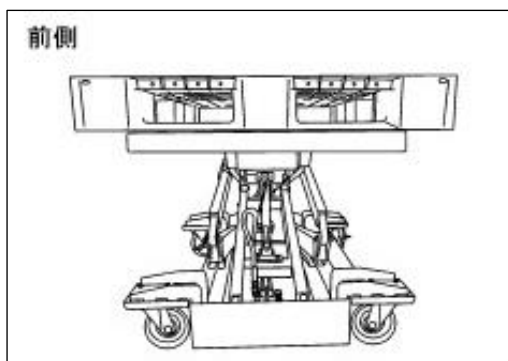
21. スタビライザクランプを外し、スタビライザバーを移動させる。

22. リヤディフューザブラケット左右①を取り外す。



23. パレット(1,100 mm×1,100 mm)をリフトテーブルの中心にセットする。

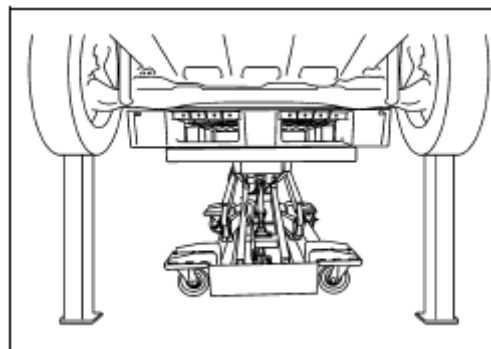
注意: 重量物を積載しますので、パレットは耐荷重 1 トン以上のものをご使用ください。また、劣化の激しいパレットは使用しないでください。



リチウムイオンバッテリー取り外し

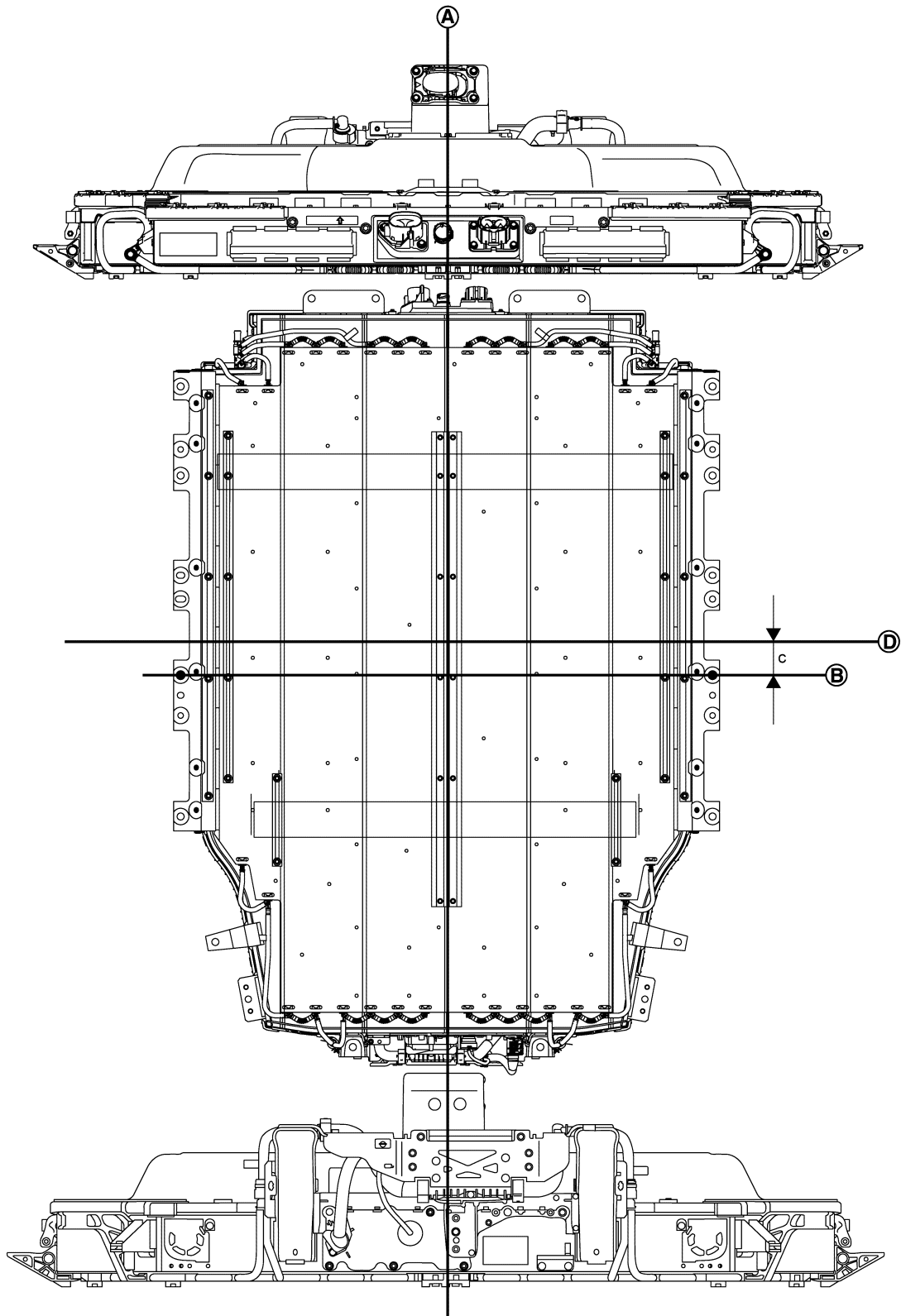
24. リフトテーブルを上げて、パレットをリチウムイオンバッテリーの重心にセットする。

注意: リフトテーブルを上げる際、車両を持ち上げないように注意すること。



リチウムイオンバッテリー取り外し

参考:リチウムイオンバッテリー重心

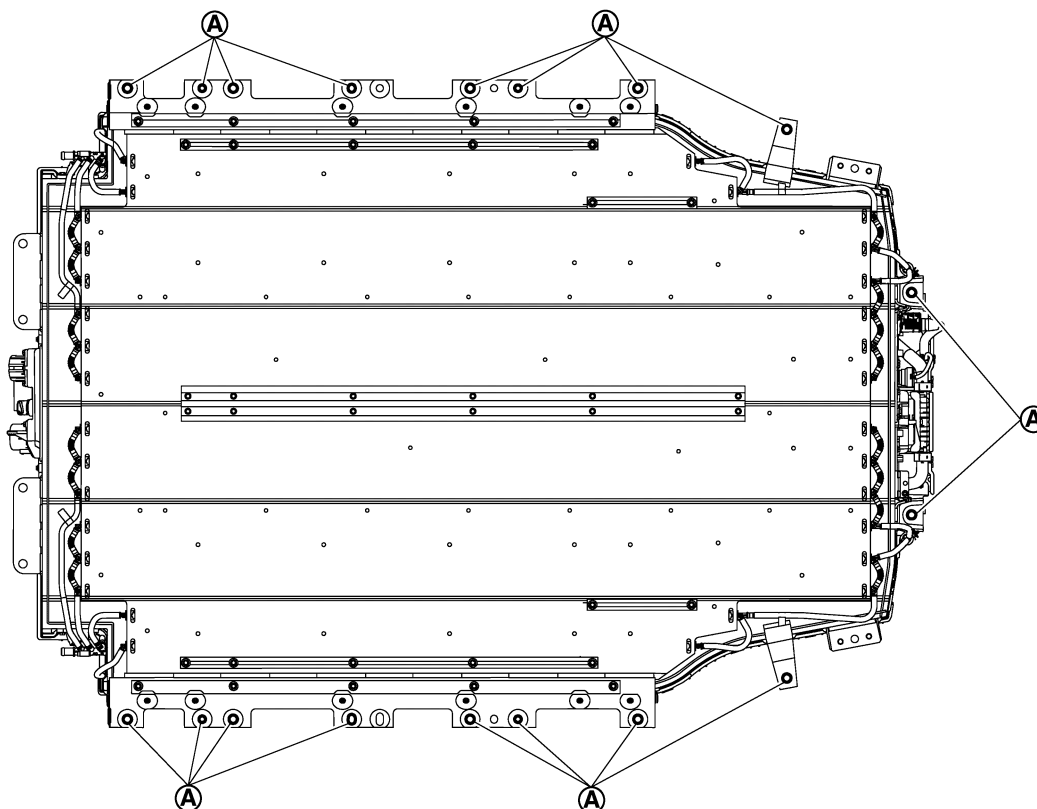


- Ⓐ : リチウムイオンバッテリー左右重心
- Ⓑ : リチウムイオンバッテリー取付穴中心部
- Ⓒ : 51 mm
- Ⓓ : リチウムイオンバッテリー前後重心

リチウムイオンバッテリー取り外し

25. リチウムイオンバッテリー取付ボルト(A)を取り外す。

警告: ⚠️ 感電を防止するため、絶縁保護具を着用すること。



26. リフトテーブルを下げて、リチウムイオンバッテリーを車両から取り外す。

警告: ⚠️ 感電を防止するため、絶縁保護具を着用すること。



警告: リチウムイオンバッテリーは重量物なため、落下しないよう十分注意すること。

27. リチウムイオンバッテリーをパレットごとリフトテーブルから床に下す。

警告: フォークリフト等による突き刺し、高所からの落下等リチウムイオンバッテリーを破損させるような衝撃を与えないこと。

注意: 雨水にぬれない場所、直射日光に当たらない場所で作業すること。

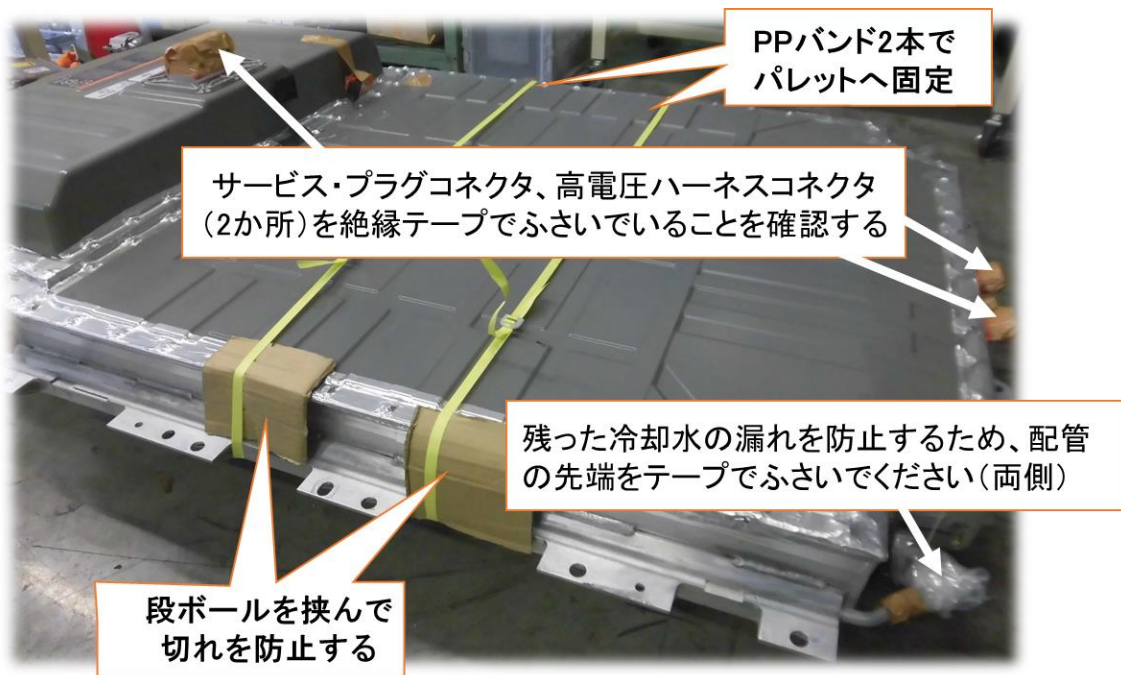
リチウムイオンバッテリー取り外し

(4) 引き取りの準備・荷姿

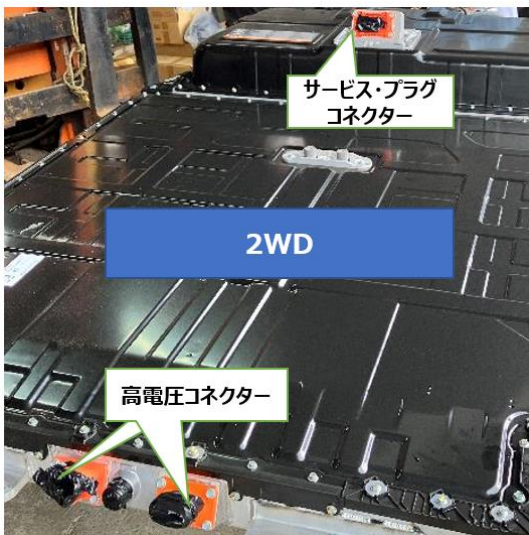
以下のような荷姿で引き取りの準備をする。

注意: 重量物を積載しますので、パレットは耐荷重 1 トン以上のものをご使用ください。

また、劣化の激しいパレットは使用しないでください。



【アリア絶縁処理箇所】



12V サブバッテリー（リチウムイオンバッテリー）取り外し

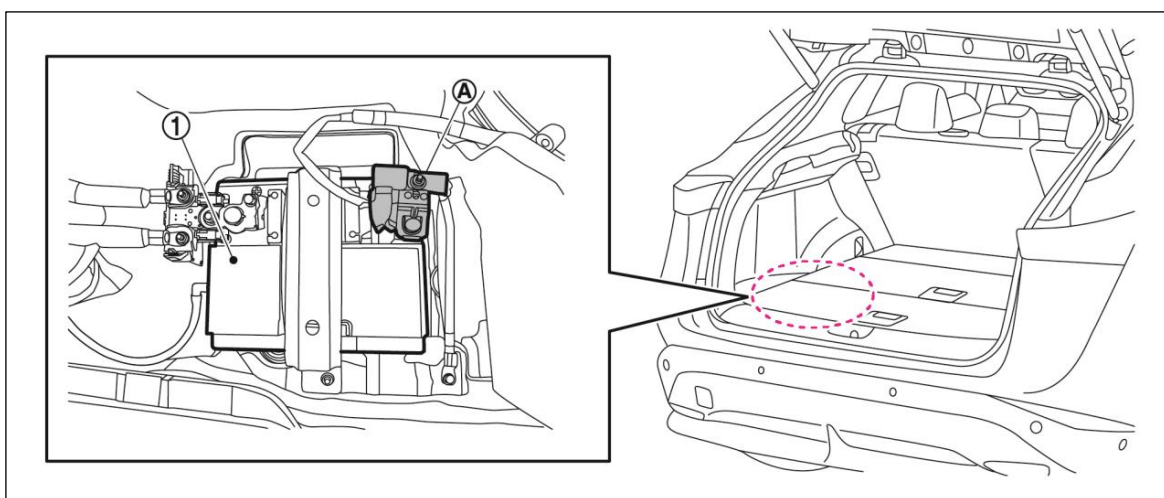
10. 12V サブバッテリー（リチウムイオンバッテリー）取り外し

(1) 12V サブバッテリーの仕様

種類	リチウムイオン電池
公称電圧	13V
電池容量	10Ah
重量	4kg

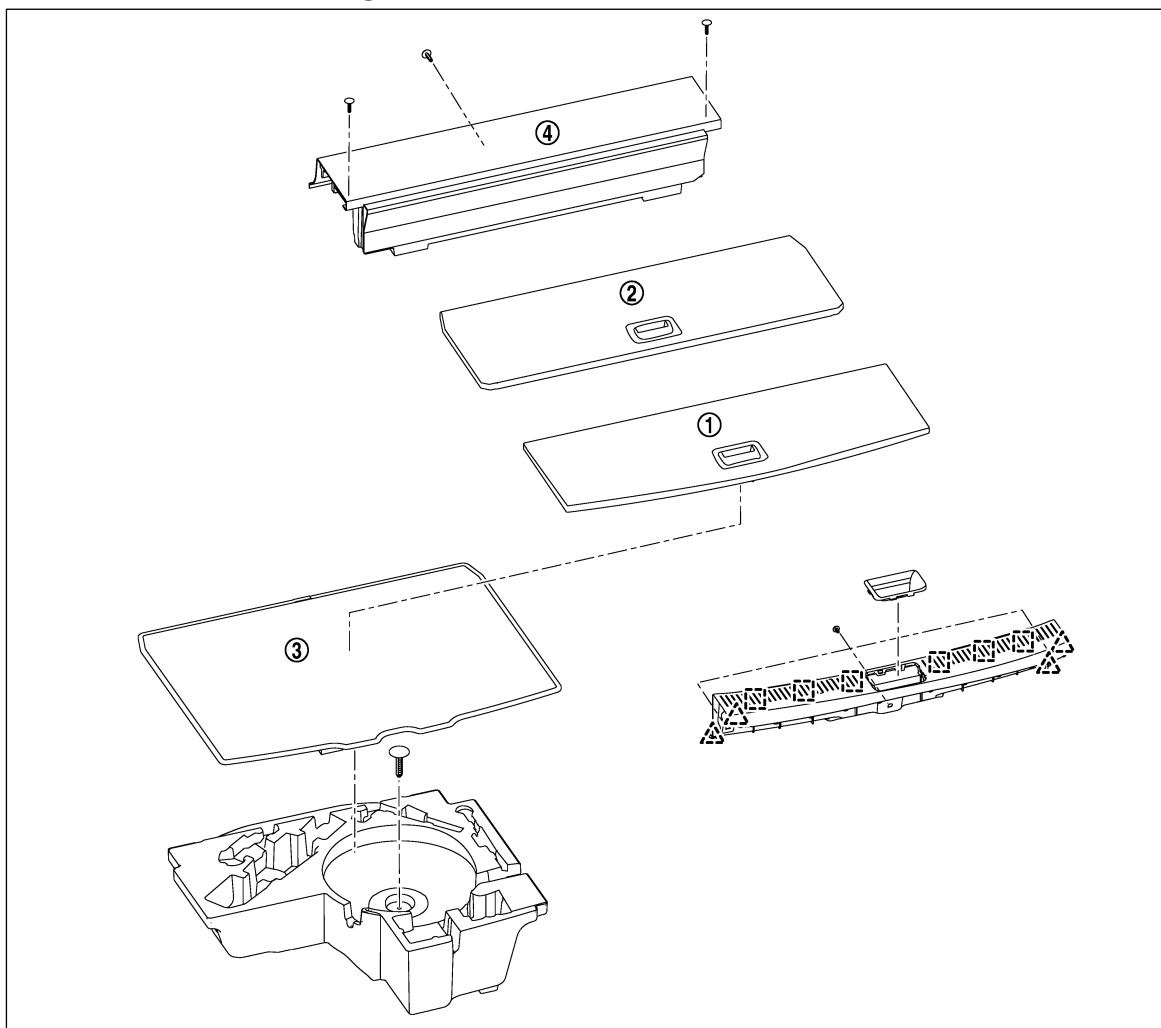
(2) 12V サブバッテリー取り外し手順

1. 12V バッテリマイナス端子を取り外す(駆動用バッテリー取り外し手順で実施した場合は省略)。



12V サブバッテリー（リチウムイオンバッテリー）取り外し

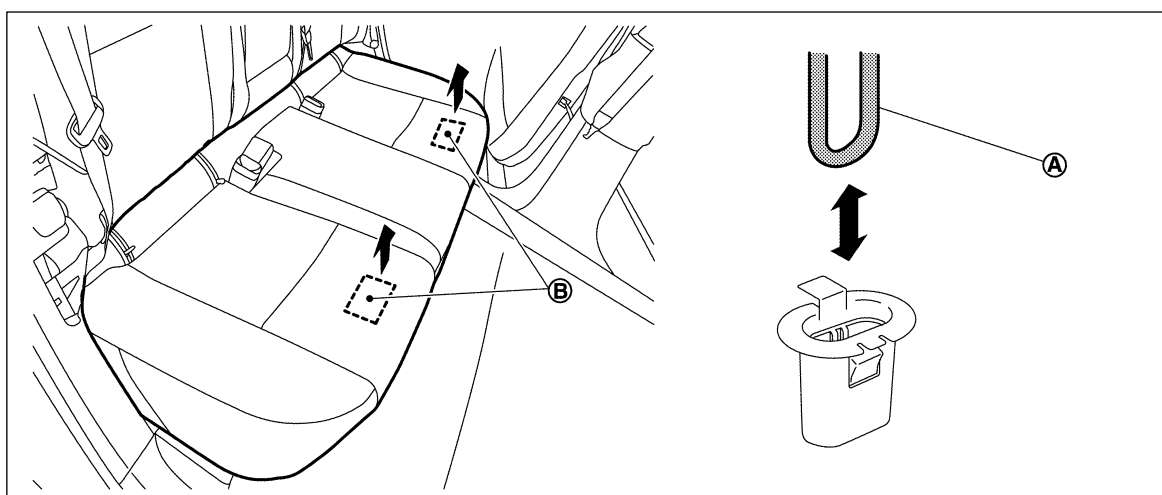
2. リヤセンタラゲッジフロアボード①及びフロントセンタラゲッジフロアボード②を取り外す。
3. ラゲッジフロアカーペット③を取り外す。



4. ラゲッジフロアスペーサ④を取り外す。

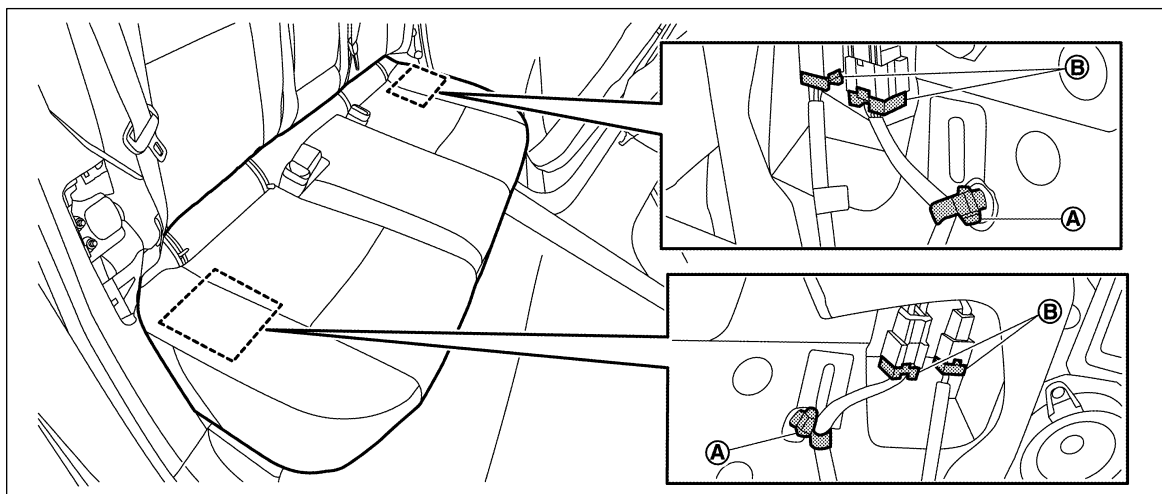
4-1. シートクッション ASSY を取り外す。

- a) かん合部①に近い位置②に力を掛けてシートクッション ASSY を持ち上げ、シートクッションフックのかん合を外す。



12V サブバッテリー（リチウムイオンバッテリー）取り外し

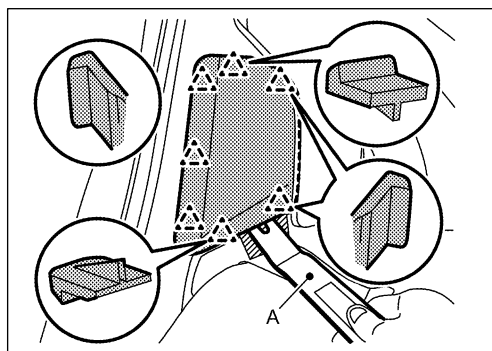
- b) シートクッション ASSY を持ち上げ、シートベルトバックルを抜き取る。
- c) シートクッション ASSY を持ち上げながらボディハーネスクリップ[Ⓐ]のかん合及びハーネスコネクタ[Ⓑ]の接続を外す。



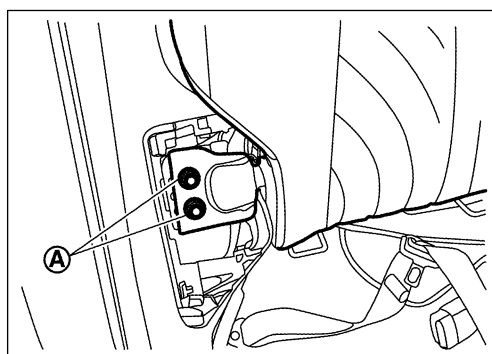
- d) シートクッション ASSY を車両より取り外す。

4-2. 右シートバック ASSY を取り外す。

- a) 右アウトヘッドレストを取り外す。
- b) リムーバツール(A)を使用して、ラゲッジフィニッシュヤマスク取付樹脂爪のかん合を外し、右ラゲッジフィニッシュヤマスクを取り外す。



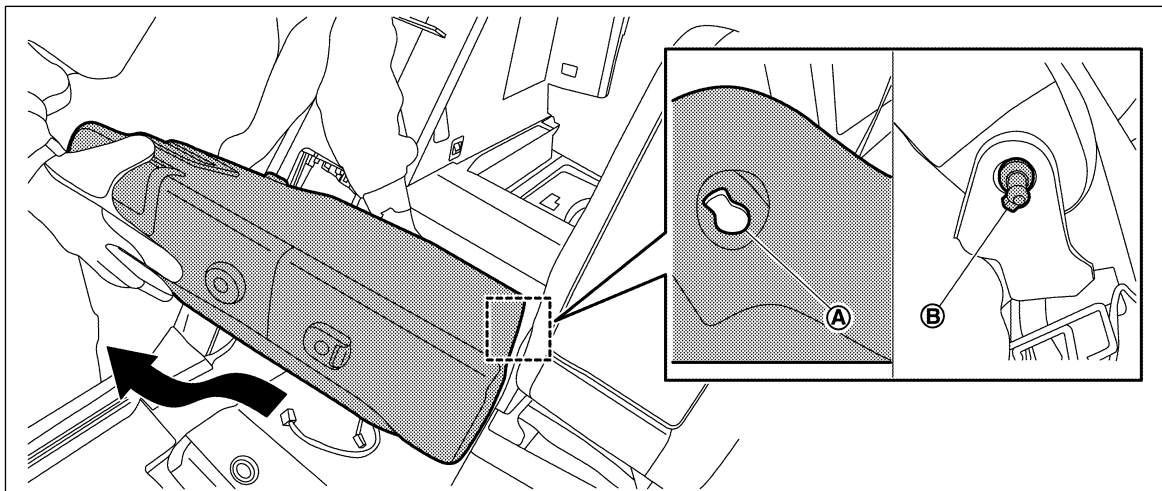
- c) 右シートバック ASSY 取付ナット[Ⓐ]を外す。



- d) シートバックのロックを解除し、前に倒す。

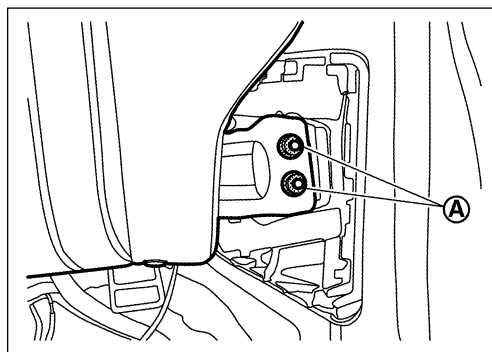
12V サブバッテリー（リチウムイオンバッテリー）取り外し

- e) かん合部②を右シートバック ASSY の取付穴①から外し、右シートバック ASSY を車両より取り外す。

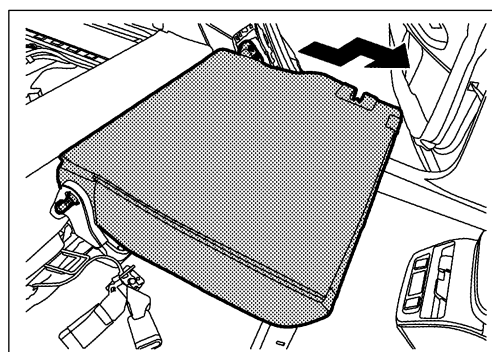


4-3. 左シートバック ASSY を取り外す。

- a) 左アウトタ及びセンタヘッドレストを取り外す。
b) 左ラゲッジフィニッシュマスクを取り外す。
c) センタシートベルトのセンタアンカプレートを取り外す。
d) 左シートバック ASSY 取付ナット①を外す。

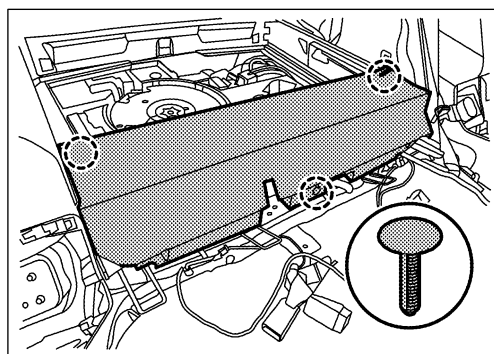


- e) シートバックのロックを解除し、前に倒す。
f) 左シートバック ASSY を車両より取り外す。

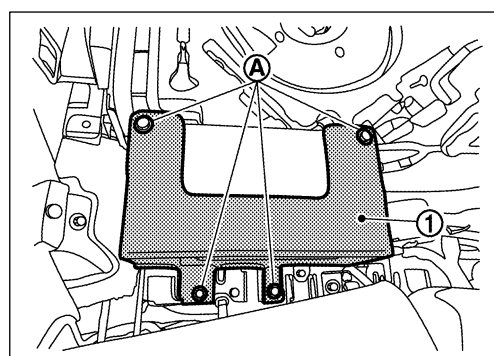


12V サブバッテリー（リチウムイオンバッテリー）取り外し

4-4. ラゲッジフロアスペース取付樹脂クリップを外し、ラゲッジフロアスペースを取り外す。

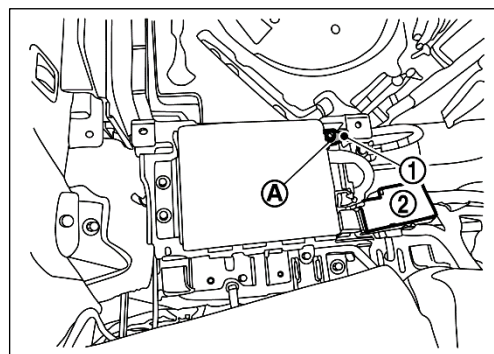


5. サブバッテリーブラケット A(①) 取付ボルト(A)を外し、サブバッテリーブラケット A を取り外す。

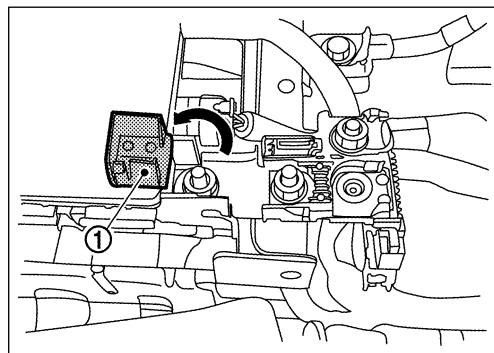


6. 12V サブバッテリー(リチウムイオンバッテリー) マイナス端子取付ナット(A)を外し、マイナスケーブル①を取り外す。

7. 12V サブバッテリー(リチウムイオンバッテリー) プラス端子のカバー②を取り外す。

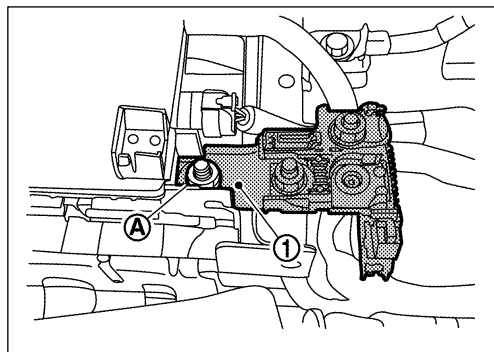


8. 12V サブバッテリー(リチウムイオンバッテリー) プラス端子取付ナットのカバー①を開ける。

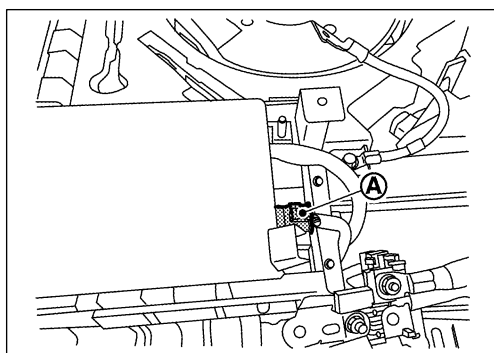


12V サブバッテリー（リチウムイオンバッテリー）取り外し

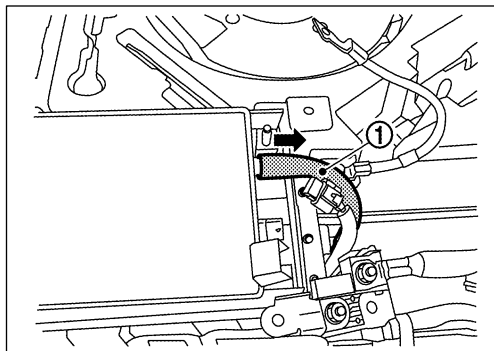
9. 12V サブバッテリー(リチウムイオンバッテリー)プラス端子取付ナット(A)を外し、12V サブバッテリー(リチウムイオンバッテリー)プラス端子(1)を取り外す。



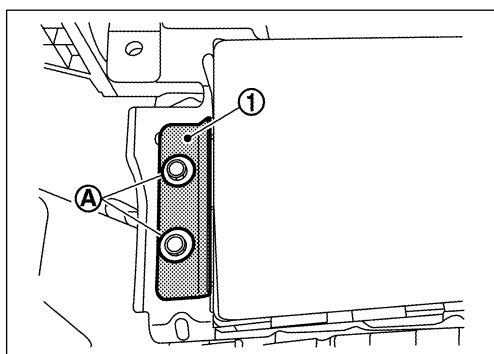
10. ハーネスコネクタ(A)を外す。



11. エアブリーダチューブ(1)を12V サブバッテリー(リチウムイオンバッテリー)から矢印の方向に外す。



12. サブバッテリーブラケット B (1) 取付ボルト(A)を外し、サブバッテリーブラケット B を取り外す。



12V サブバッテリー（リチウムイオンバッテリー）取り外し

13. 12V サブバッテリー(リチウムイオンバッテリー)を取り外す。



14. 端子は露出しないようただちにバッテリー側 2 か所を絶縁テープで保護すること。



(3) 12V サブバッテリー引き取りの準備

(1) リチウムイオンバッテリーパック梱包方法

リチウムイオンバッテリーパックは、段ボールに収納し、梱包します。収納は解体事業者様、梱包は運送会社のドライバーが行います。段ボールと緩衝材は、運送会社のドライバーが持参します。

発行 日産自動車株式会社

車両生産技術開発本部

環境&ファシリティエンジニアリング部

お問い合わせ先 リチウムバッテリー回収受付窓口

ゼロエミ・ゴーゴー

Tel: 0120-083-505

本書は、著作権で保護されております。私的複製を除き、本書の全文又は一部を日産自動車（株）に無断で複製、改変することなどを、媒体を問わず禁止します。このような不正使用行為は、民事上の損害賠償の、また刑事罰の対象となります。

©Copyright 2022 NISSAN MOTOR Co. Ltd., All rights reserved